

令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県南会場

科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 保護者が安心して子どもを育て、子育てと仕事を両立できるようにするには、学校との連携はとても大切な事であり、個人情報の保持や秘密の保持には徹底して注意することが重要である事が分かった。常に安心感を持ち、心の安定を図ることができるように努めていきたいです。また、自分たちだけでは限界があり、地域の関係機関とも連携を取り、ともに育てることで、子どもの安全を保障する環境づくりにつなげていきたいと思います。
- ◆ 地域と連携を取ることが重要と改めて学びました。放課後児童クラブも学校生活の延長であり、ルールを決め、なおかつ、安全・安心、信頼できる場として提供しなければなりません。少子化は進んでいるものの、放課後児童クラブの利用者数は増えつつあるので、支援員の確保や人材育成も含め、シルバー人材等の機関からも手を借りるなど工夫しながら、連携を合い言葉に従事していきたいと思いました。
- ◆ 小学校からは行事予定変更等の連絡はありますが、児童個人に関する性格や日常生活態度等を共有する機会が非常に少ないのが現状です。児童や保護者が放課後児童クラブで安心して安全に過ごすために、また、学校や支援員への過度な負担を減らすために、学校、地域、放課後児童クラブが情報を共有する場を設け、よりよい環境づくりに努めたいと思います。
- ◆ 学校・地域との連携が子どもたちの幸せに繋がり、ひいては働く私たちの幸せにも繋がっているというお話に納得しました。国からの働きで、子育てに関する総合プランが推進されて、各地で始まっていますが、市町村によって差があることが分かりました。横のつながりが種別を超えて、全ての大人が協力していくことが必要だと感じました。総合プランについて、全容を知ることができ、日々の仕事の中でも課題を持って取り組んでいきたいです。
- ◆ 学校や保護者との情報共有が必要である事は分かっていましたが、実際は地域社会や関係機関など、思っている以上に広い範囲での連携が必要であることを実感しました。子どもたちが毎日安心して楽しく過ごせるように、小さな変化を見逃さず、地域全体で見守っていけるような関係づくりが大切だと思いました。個人情報等の扱いに留意しながら、関係機関と共通理解を図れるようにしていけたらと思います。